

花がいっぱいの鎌田地区



鎌田地区
令和2年7月1日現在
総人口 19,612人
(前年比 +99人)
世帯数 9,129戸
発行者 鎌田地区公民館
公民館報編集委員会

◆心やすらぐ花びら◆

松本市は花いっぱい運動発祥の地。鎌田地区は町会や個人宅、公共施設などで花づくりが盛んです。今年には特に、丹精込めた花々にコロナ禍の不安な心が癒されます。やすらぎの場をいくつか紹介します。



月見町ロータリーの花壇 (団体の部最優秀賞)

■月見町がダブル受賞

花いっぱい運動を推進する松本市の「令和元年度花壇コンクール」最優秀賞を、団体の部では月見町フラワークラブ、個人の部は田中昌子さん(月見町)が受賞しました。



田中昌子さん宅 (個人の部最優秀賞)

■中学生が花壇を手入れ

信明中学校では生徒が気持ちよく学校生活を送れるよう、先生たちが5月の休校期間に花壇を造成。登校再開後は生徒と一緒に、過ごしやすい環境づくりをめざしています。



丸山勝子さん宅

■一人ひとりが花びら

両島のガーデン&ギャラリー「風雅」は、広い屋敷林を生かした花と緑豊かな庭で、大樹に巻き付く紫陽花、宿根草、小川の山葵など自然で清涼な空気を味わえます。



高宮公民館横の花壇

いつでも見学ができる松本市のオープンガーデンは、鎌田地区内にも4軒あります。そのひとつ、丸山勝子さん宅(両島)はアーチや歩道など全て手造りで、四季折々の花々が咲く見事な庭園です。



ガーデン&ギャラリー「風雅」



生徒が交代で水やりと草取り (信明中学校)



地区公民館のプランターに
鎌田小学校の児童が水やり

の繋がりを続けさせてくれます」と語ってくれました。これからも、私たち一人ひとりが花づくり活動の輪を広げ、鎌田地区を花が溢れる明るく潤いある町にしていきたいでしょう。

地区優先日を利用して

鎌田体育館で楽しくスポーツ



毎週水曜・金曜・土曜日の夜間(午後5時～9時)は、鎌田地区の皆さんが鎌田体育館を自由に利用できる地区優先日です。

7月最初の水曜日夜、この日は少年野球チームの体力トレーニングや卓球クラブの練習、居合道の稽古をする人など約30人が体育館を利用し、館内は明る

い歓声でつつまれていました。

週に3日ある地区優先日では、ほかにもソフトバレーボールやバドミントンを楽しむクラブがあります。ソフトバレーボールの練習に欠かさず参加する今福圭司さん(征矢野)は「チームを増やして楽しくリーグ戦が出来るようにしたい」と話しています。



健康運動教室を開催

6月22日、鎌田地区公民館主催の健康運動教室には親子づれをはじめ約30人が参加しました。

ストレッチや筋力トレーニングでコロナ禍の外出自粛による運動不足・ストレスを解消、楽しく体を動かししました。



鎌田地区公民館 活動ウークルの紹介② スイング虹 スクエアダンスクラブ

スクエアダンスはアメリカ発祥のフォークダンス。男女のペア4組が向かい合い、リーダー役の指示に従って、回ったり、パートナーを変えたりして踊ります。

「スイング虹」は10年前に発足、会員は8人で70歳以上が多く、毎週水曜日が活動日です。一昨年から月に2回、鎌田児童センターの児童約10人に教え、「オレンジカフェ」や「ニコニコサロン」で一緒に踊り、集まりに参加の皆さんにも喜ばれています。



子どもと一緒に活動しているサークルは珍しく、代表の高橋和子さんは「子どもたちは上達が早く、孫たちと一緒にうで私たちも楽しい」と話されました。

鎌田地区17町会 令和2年度 町内公民館長

- | | |
|--------------|-------------|
| 桐沢 明雄(中条町) | 小岩井定男(高宮) |
| 藤本 忠和(中条南) | 上條 義則(石芝町) |
| 矢ヶ崎和弘(井川城上区) | 坪田 秀一(石芝東) |
| 島崎 建代(井川城中区) | 川上 健治(昭和町) |
| 寺澤 憲一(井川城下区) | ○松本 正(月見町) |
| 近藤 邦人(鎌田) | 中垣 智訓(五月町) |
| 待井 正和(両島) | 会田 英夫(南原町) |
| 吉野 泰正(笹部) | 中村光一郎(弥生町) |
| ◎横林 文雄(征矢野) | ◎町内公民館長会会長 |
| | ◎町内公民館長会副会長 |

雑感

ペットブームで犬や猫を飼育する家庭が多い。我が家でも雄猫を去勢手術後に室内飼育している。一切外には出さないが、時々脱走することがある。猫の世話は意外と手数を要する。爪は時々切らないと鋭くなり危険。体毛も常に手入れをしないと室内毛だらけとなる。トイレは紙粒の物を使用するので、処理が楽でありがたい。汚れていると、鳴いて知らせる。日本動物愛護協会が、猫も飼い主も幸せに暮らすために正しく飼育するよう、テレビやラジオで『にゃんぱく宣言』の広告をしている。「家の外に出してはいけない」「餓えない数を飼ってはいけない」▼猫にも腹時計があるようだ。朝と夕方、決まって5時半頃になるとエサの催促に寄ってくる。猫のために人間の食材は一切与えない▼猫がニャーと鳴くのは、そこに人間が居るからで、他に対してはニャーとは鳴かないようだ。喉を鳴らすのはリラックスしているときで、最近では鳴き声で訴えが少しは解かるようになった。猫に癒されている今日この頃である。(松本捷幸)